

沿革

昭和51年10月	一般病床103床にて開院
昭和52年7月	CT装置の導入
昭和53年4月	人工透析の開始
昭和60年11月	一般病床103床から137床に増床
平成6年11月	訪問看護事業を開始
平成9年3月	救急告示病院指定
平成12年4月	指定介護療養型医療施設を開設 芦屋町訪問看護ステーションを開設
平成14年1月	居宅介護支援事業を開始
平成17年4月	住民総合健診を開始
平成18年5月	自治体立病院優良病院表彰を受賞
平成19年5月	自治体立病院優良病院総務大臣表彰を受賞
平成27年4月	地方独立行政法人芦屋中央病院へ移行
平成28年4月	通所リハビリテーションを開始
平成29年4月	電子カルテシステム導入
平成30年1月	ISO9001認証取得
平成30年3月	新病院開院

病院概要

開設日	昭和51年10月
所在地	〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿283番地7
施設	敷地面積 22,620.5㎡ 延床面積 11,893.7㎡ 鉄筋コンクリート造5階建
駐車場	310台
理事長・院長	櫻井 俊弘
診療科目	内科、消化器内科、内視鏡内科、腎臓内科、人工透析内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、肝臓内科、神経内科、膠原病内科、外科、乳腺外科、整形外科、泌尿器科、眼科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科(休診)
病床数	137床(一般90床、療養32床、緩和ケア15床)
外来受付時間	月～金 午前 8:00～午前11:30 午後12:30～午後16:00 土 午前 8:00～午前11:00
休診日	日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)



交通アクセス

[芦屋タウンバス]

JR遠賀川駅前バス停より『芦屋中央病院』行きへ乗車
芦屋中央病院玄関前バス停にて下車

[北九州市営バス]

JR折尾駅バス停より
『芦屋(第二栗屋)』または『芦屋(鶴松団地)』行きへ乗車
芦屋中央病院下バス停にて下車

町内巡回バス

60歳以上の人や障がい者とその補助者が利用できる
町内巡回バスはこれまで同様病院玄関まで送迎します。

地方独立行政法人 **芦屋中央病院**

〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿283番地7
TEL 093-222-2931 FAX 093-222-2176
HP : <http://www.ashiya-central-hospital.jp/>

地域住民及び地域医療機関に
信頼される病院を目指して。

地方独立行政法人

芦屋中央病院

新病院 平成30年**3月1日** 開院

3月2日(金) 外来診療開始

新病院での新たな機能

- 1 緩和ケア病棟の開設
- 2 患者支援センターの開設
- 3 MRIの導入
- 4 外来化学療法室の設置
- 5 個室的多床室の導入
- 6 健診センターの開設
- 7 手術室にバイオクリーンルームの設置



地域との連携を深め
心の通う医療と確かな技術で、
皆様の明るい笑顔に満ちた
病院を目指します。

ご挨拶

地方独立行政法人
芦屋中央病院
理事長・院長 **櫻井俊弘**



芦屋中央病院は昭和51年に地域住民の健康を守るため町立病院として開設され、急性期から在宅医療まで切れ目のない医療の提供を目標としてきました。平成27年には経営の安定化を図るため地方独立行政法人に移行し、小さくてもきらりと輝く病院を目指してまいりました。

この度、芦屋中央病院は北九州市若松区との町境に近い町立体育館横に移転しました。新病院は現病院とほぼ同じ床面積ですが、無駄を省いた設計によって新しい機能を追加しております。数が不足していた内科の診察室を増やし、手狭だった採血・点滴スペースを広げました。一般病棟の4人部屋は全てのベッドから外が見晴らせる形状としております。がん患者さんの痛みの解消や精神的な手助けを目的とした緩和ケア病棟も設けました。

今後、さらに在宅診療部門を強化し、地域の診療所や介護施設などとの連携を深めてゆく所存です。新病院が地域の方々の健康維持のお役に立てれば幸いです。



エントランス
大きなカーテンウォールと2階までの吹き抜けにより広々とした空間を演出しています。



外来モール
広い通路で、車いす同士でもスムーズにすれ違うことができます。



リハビリガーデン
高齢者の屋外訓練や、スポーツの動作訓練などに幅広く対応できます。



霊安室
霊安室は「おだやかに最期を迎え、お別れのできる場」とのコンセプトのもと、5階に配置しました。



**エレベーター棟から
病院建物までのプロムナード**
屋根があるので雨に濡れずに病院建物へ行けます。



エレベーター棟
徒歩での来院にご利用ください。自転車の方も利用できます。



手術室
新たにバイオクリーンルームを設置し、対応可能な手術の幅を広げます。



総合受付、患者支援センター窓口
こちらで初診、来診等の受付、診察費の精算を行います。また、患者支援センターとして、医療と介護の相談窓口を集約しました。



リハビリテーション室
広いリハビリテーション室で、医療リハビリ、心大血管リハビリのほか、通所リハビリを行います。



病室(個室)
個室は、全室に洗面台、トイレを設置しています。シャワーのついた部屋もあります。



総合駐車場
外来用、職員用合わせて310台駐車できます。

新病院での新たな機能

緩和ケア病棟の開設

がんに伴う痛みをはじめとする、身体や心の辛さなどの苦痛をできる限り和らげることを目的とした病棟です。通院では症状を和らげることが困難な患者さんを受け入れます。

患者支援センターの開設

医療と介護でお困りの方の相談・要望に応えられるよう、「訪問看護ステーション」「居宅介護支援事業所」「地域医療連携室」「訪問リハビリテーション」「通所リハビリテーション」の相談窓口を一つに集約しました。

MRIの導入

1.5テスラのMRIを新規に整備しました。これにより整形外科系疾患の精密かつ正確な検査が可能になります。また、今後は脳梗塞の早期発見にも活用できるよう病院スタッフの充実を目指していきます。



外来化学療法室の設置

通院してがん治療(化学療法)ができるよう専用の部屋を整備しました。リクライニングチェアと個別のTVにより、ゆっくりと治療が受けられます。

個室的多床室の導入

一般病棟の4床室(内科系、外科系)に個室的多床室を導入しました。それぞれのベッドサイドに窓を設けることにより、眺望や採光に配慮した快適な空間をつくりだします。



健診センターの開設

レントゲンなどの放射線検査以外の基本的な検査を1室で行うことが可能になりました。また、放射線部門をすぐ下の階に設置することで、患者さんの移動を極力少なくしています。

手術室にバイオクリーンルームの設置

バイオクリーンルームの手術室を1室設置しました。これにより高い清浄度が必要な整形外科の手術など、対応可能な手術の幅が増えました。

5階
4階
3階
2階
1階

